

千歯会便り

164号

2014.10.1 発行



秋色もようよう濃くなってまいりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか？この度、千歯会便りをリニューアルいたしました。よりわかりやすく歯の健康、千歯会の事業について、お伝えいたします。

「歯科衛生士会」を

ご存じですか？

「歯科衛生士会」は、国民の健康と福祉の増進のため、歯科衛生を幅広く普及させる活動を行っております。

歯科衛生士の資質向上、学術研究の振興を目指して、研修やフォーラムを開催したり、歯科衛生に関する国際協力を進めたりする他、震災被災地や地域歯科への支援、みなさまに歯科衛生についての知識を広めるための、冊子やホームページ作りなど、全国規模、地域連携が必要となる事業に携わっています。

会が存在することにより、衛生士一人、みなさま一人だけでは出来ない、大人数での意見交換やセミナーの開催や他国、他地域への支援、村や町といった広範囲への歯科衛生の普及といった、歯科衛生活動が可能

なっているのです。

そのため「日本歯科衛生士会」を中心として、各県別に「歯科衛生士会」が存在し、さらに地域によって各支部に別れています。

「千葉県歯科衛生士会」の

支部活動報告について

「千葉県歯科衛生士会」では中央支部・とうかつ支部・しおさい支部・さざなみ支部・北総支部と、会員の所在地により支部わけされています。

なお、中央支部の講習会では、当医療法人社団 千歯会 おゆみ野総合歯科クリニックの歯科医師、「伊藤創造先生」による講演が予定されており。

会員外の方もお気軽にご参加ください。

支部	日時	会場	内容	講師
中央支部	H26.12.7(日) 13:30～15:30	千葉県口腔保険センター	インプラント治療に大切なこと。長期にわたるインプラントケア。	医療法人社団 千歯会 おゆみ野総合歯科クリニック 伊藤 創造先生
とうかつ支部	H26.12.14(日) 13:30～15:30	鎌ヶ谷市中央公民館 学習室2	「口腔の身体機能向上のために知っておきたいこと」～PTから学ぶ高齢者対応と機能改善の実際～	理学療法士 河野 洋志先生
しおさい支部	H26.12.7(日) 14:00～16:00 ※受付 13:30～	旭中央病院 管理・研修二号館 三階会議室	DHも知っておきたいインプラント治療の明暗	国保旭中央病院 歯科・口腔外科部長 秋葉 正一先生
さざなみ支部	H26.10.26(日) 14:30～16:30 ※受付 14:00～	市原市姉ヶ崎保健福祉センター 「アネッサ」	歯科衛生士が行う接触・嚥下リハビリテーション	東京都歯科衛生士会 伊藤 真知子先生 東京技研営業部オーラルケア課歯科衛生士 小泉 里香先生(商品案内)
北総支部	H27.1.24(土) 13:30～15:30	佐倉市 ミレニアムセンター	認知症に学び、認知症サポーターになろう	千葉県認知症介護指導者 土屋 亮太先生

THE 7th WORLD DENTAL SHOW

ワールドデンタルショー
2014

2014年
10月10日 12時～19時
11日 10時～19時
12日 9時～17時

パシフィコ横浜展示ホール
※歯科医療器具・コンピュータ・書籍・材料の展示

開業 二十八周年、
新院長の刑部（おさかべ）
先生の元でがんばっています。
七月二十六日には毎年
恒例の「虫歯予防祭り」を開催
しました。歯医者さん体験・無料歯科検診・歯
のクリーニング・セルフケア用品の上手な使い
方・駐車場を使ったプチ縁日を行いました。
百名ほどのの方々にご参加頂けて、歯の大切さを
意識して頂いたと思っています。（伊藤誠）

大網
歯科医院
院内

内宮先生を中心に
医師五名・衛生士七名体制
で介護を必要とする患者さ
んの歯科診療を行っています。
千葉県は現在、六十五歳以上の
高齢者が二十二%近くを占める高齢社会です。
そして介護を必要とされる方の中には、ご自分
の意志をうまく伝えられない方がたくさんおら
れます。介護されている方々との連絡を密にし
て、安心して治療を受けて頂けるように——こ
れからも、努力していきます。（長嶋）

大網
歯科医院
訪問



大網歯科医院

大網白里市みやこ野
2-2-1

TEL 0475-72-6480
FAX 0475-72-8059



大網歯科医院 訪問診療部

TEL 0475-73-6480
FAX 0475-53-6982

千歯会 事業所便り

今迄、「院内」「訪問」
と分かれての仕事をやって
いましたが、診療所の隣に
訪問事務所が出来上がった
ことから、ミーティングなど
を合同で行うことになりました。河内院長を中
心に、片貝スタッフ全員が一緒に同じ方向を見
て頑張っていけるので、良い結果が出てくるだ
ろうと思っています。充実した楽しい職場であ
るように願っています。（江本）

片貝
デンタル
クリニック

開業 から五ヶ月経ちま
して、すでに五百名を超
える患者の皆様をお迎えし
ております。院長の大橋先生
を中心に、総合歯科の一翼として
提案している精密な画像診断による治療法に合
わせ、伊藤創造先生のご指導による「インプラ
ントセンター」を立ち上げました。その他、お
母様方が治療にいらっしゃる間のお子様のお世
話など、どなたも安心して受診できる環境につ
いて考えております。（阿南）

おゆみ野
総合歯科
クリニック



片貝デンタルクリニック

山武郡九十九里町片貝
2380
TEL 0475-73-6480
FAX 0475-53-6982

訪問診療部
TEL 0475-76-8201
FAX 0475-71-3472



おゆみ野 総合歯科クリニック

緑区おゆみ野 4-3-9

TEL 043-300-3939
FAX 043-300-3940

千齒安カルチャー

人生八十年オーバーの時代。体の健康はもちろん大事ですが、何を考えて、どのように生きるか。心の健康についても考えて見ましよう。

昨今のイソップ寓話

(注1、注2)

神様が人間を作られました。他の動物と比べて七、八十年は保つてである精巧な肉体と合わせて、元気に生きられるようにと「欲」というものを背負わせて地球上に放たれました。

ところが、その人間がいつしか神の思いを超えて、科学といった鍵を創り上げ、いろいろなパンドラの箱^{注3}を次々とこじ開けてしまいました。

そのために人間社会では大小の欲が火花を散らし、至る所で争いや殺し合いを始めてしまいました。せっかく頂いた身体も自然の摂理を外れたために、様々な病や故障に悩むことになってしまいました。

それどころか、自分たちの住んでいる奇跡の星「地球」を食い尽くし、破壊しようとしています。

修羅^{注4}と化し、吾を忘れて地球上に蠢く人間の姿を、神は他の星や月と同様に、ただ静かに見下ろしています。

それだけですむでしょうか？ つか、神の行いが心配です。

人間は仏になれても、神にはなれないのです。

注1 イソップ
……紀元前六世紀頃、ギリシャの寓話作者

注2 寓話
……動物などを用いて述べたいことを間接的に伝える物語にする話法

注3 パンドラの箱
……ギリシャ神話。ゼウスが人類最初の女性パンドラに、決してかけてはならないと厳命した箱

注4 修羅
……闘争や争い

……闘争や争い

寸言 ～滋味きく すべき事柄～

一、一芸に勝れたものは、その分別の一事に劣る。
おごるなかれ！

隣の芝生は綺麗に見える。

二、耳で聞いた説教ならば忘れもしようが、痛みと屈辱で知ったことは身体が覚えている。
苦は呑み込め。

五、老齢になるにつれ、人は動じなくなる。面倒な難しいことがわからなくなるからである。
昔はその分、若い人の気働きが助けてきた。

三、人間の幸福は、「これぐらいで良い」という加減によってもたらされる。
コンピューターと異なり、人間は法則の系ではなく、満足原理によって生きているのだから。程々を大切に。

——さてさて、人間とは微妙な生き物です。

四、人は貧富貴賤に関わらず、皆つらい道中を行く旅人です。
さだめといった荷を背負い、懸命に歩いているのです。





ざっと世間を眺めれば

国家や社会はウソもつく

私達は国や社会といった枠組みの中の一員として生きています。だから、どんな国や社会であるのか、どんな流れがあるのかといったことが、私達の生活を支配しています。

ところが、その国や社会の様相は、移りゆく時代や権力者の交代によって、色々と変化します。

振り返れば八十余年の人生の中で、移ろう世の中の変化に、たくさん騙されてきました。

軍国主義と敗戦

まず、私達世代は「軍国少年」として、永久不滅の神国日本を信じ込まされました。現人神天皇の名の下に生命をなげうって太平洋戦争を戦わされました。挙国一致・米英駆逐・東洋平和といった言葉が、未だ耳に残っています。

——今にして思えば、米英のなんたるかも知らずに、また中国やフィリピン・タイ・マレーと悲惨な戦禍を拡大させていたので……。

そして私達は徹底的に叩きのめされ、三百万の命と共に全てを失いました。廢墟と化した国土から、新たな国作りが始まったのです。

占領軍下の施政でしたので、旧来の日本を支えてきた組織や考え方が強引に否定され、変更されました。

与えられた平等による

自分勝手主義

——公職追放・財閥解体・農地解放・男女平等・自由と人権・民主主義などなどが導入されたのが、この時代です。

学校からは御真影奉安所や、二宮尊徳の像が取り除かれ、質素儉約・質実剛健といった気風は一掃されました。

「平等」の名の下に、何代にも渡って宮々と土地を購ってきた人や、儉約に努めて蓄えてきた人々の財産は、全て取り崩されました。

有徳な旦那や地主が没落し、成り上がりが勃興し、下克上(※)の風潮が国を乱しました。

——自ら闘って獲得した「自由」「平等」ではなく、占領政策によって与えられた物でしたので、本来の意義を取り違えた「自分勝手主義」が横行してしまっただけです。この悪弊は、現在も色濃く残っております。

戦後復興くそしてバブルへ

とはいえ、その後の日本経済の発展は目覚ましいものでした。

その最大の要因は、現在盛んに論議されている、「占領下に作られた平和憲法」の規定により、南北朝鮮戦争へ参加せず、専ら兵站基地(※)として軍需物資の調達を分担したこと。低迷していた日本経済は一挙に活況を呈し、以後、「神武景気」「岩戸景気」「いざなぎ景気」というほどに天井知らずの右肩上がりを迎えました。

——そしてついに、バブルといった拝金主義社会を迎えてしまったのです。

狂乱する拝金社会

金・金・金と国民が狂奔した時代でした。経済成長率十五パーセントといった好景気を背景に、日経平均株価は三万六千円まで上り、土地は田中内閣の「列島改造計画」のもとで倍々と高値を付けられて土地転がしの対象とされました。ゴルフの会員権といった紙切れが、何千万といった値段で取引されていたのです。

中でも忘れられないのが、国民の老後に備えた貯蓄の話です。当時都知事でもあった経済学者の美濃部さんが

「今こそ借金をするときです」と語ったのです。「六〇七年で借金はゼロになります。三千万円を持って老後に備えなさい。その利息で悠々と生きられます」

当然です。何しろ利息が十パーセント以上の時代でしたから。月に三、四十万円の利息収入が見込めたのです。ところが今はなんと……変われば変わる物です。

アベノミクスの小康も

拭い切れぬ将来への不安

最近、七千円台まで落ちていた株価が一万六千円台まで回復し、景気も小康状態に戻りました。しかしグローバル経済の中で様々な外圧に晒されているこの国の将来は、予断を許しません。さらに超少子化・高齢化社会においての医療福祉予算と原発災害復興の巨費によって、我が国は世界最大の借金国になっているのです。

国民からの借金——国債を買ってもらおうことで、債務超過になりながらも他の国への支払いを滞らせることなく、経営が続けられているのです。

しかしその借金額もすでに一千兆円(年間予算の十年分以上)を超え、さらに膨ら

んでいます。このような状態では、誰もが将来への不安を払拭できません。

年金はもらえるのか、税金が上がるのか、子供世代へ残す借金はどうなるのか——。杞憂であれば良いのですが、過去の歴史は突然の法・や思想の変更をもって、容赦なく国民を襲いました。

神ならぬ身であれば、何時か大きな期待はずれが起こることが容易に想像できてしまいます。

「漂流の時代」を

生きるものとして

このように、私達は常に不確かな波のうねりの中で生きています。社会学者は現代を「漂流の時代」だといっています。だからこそ、自らの立っている足下と胸の内をしっかりと見極めて、身の処し方を覚悟しなければなりません。

——いかに精巧なロボットが出来よう、偉大な政治家が現れようと、人間も結局は他の動植物と同様、自らの力で生きていくより他のない生き物なのですから。

※下克上……上のものに逆らう風潮

※兵站基地……戦争に必要な物資を集める場所

文・千歯会理事長 父

千歯会便り 164号
2014年10月1日発行



発行元 千歯会
医療法人社団 千歯会
編集 ウノ